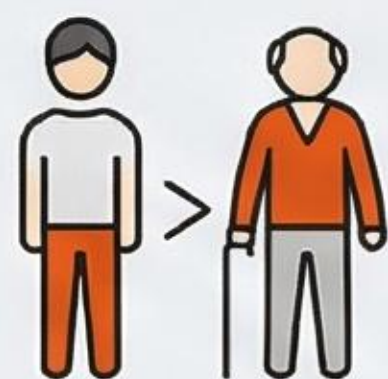


# 解決する課題

## AI格差とデジタルデバイドの拡大

AI認知率 **71.3%**, 利用率 **8.2%**  $\Rightarrow$  **63%**が「知っているが使えない」



### AI格差の拡大

- ・60代のChatGPT利用率：8.2%（20代は47.3%）
- ・若年層とシニア層で約6倍の差



### 情報弱者化リスク

- ・行政手続き、医療情報、金融サービスでの不利益



### 既存講座のミスマッチ

- ・エンジニア向け・ビジネスパーソン向けが主流
- ・50代以上の生活者視点の講座はほぼ皆無



### 学習への心理的障壁

- ・「AIは難しそう」「自分には無理」という先入観
- ・実際は文字入力さえできれば十分





# ターゲットユーザー

50～70代、推定3,200万人

## プライマリターゲット



年齢：50～70代



デジタルスキル：スマホでLINE・メールができるレベル



動機：「AIって何？」から「仕事や生活に使いたい」まで



推定人口：約3,200万人（50～70代のスマホ利用者）

スマホ保有率82.7%、3,200万人の巨大市場



## セカンダリターゲット



企業：  
シニア社員向け  
AIリスティング研修



自治体：  
デジタルデバйд  
解消施策



家族：  
親にAIを教えたい  
30～40代



# 差別化ポイント

## 5つの独自価値

ビジネスではなく、日常生活での活用に焦点



### 1. スマホファースト設計

PC不要、スマホだけで完結



### 2. 生活密着型カリキュラム

- 旅行プラン作成
- 健康相談の壁打ち
- 孫へのプレゼント選び
- 料理レシピアレンジ



### 3. 伴走型サポート

- 週1回オンラインライブ講座
- LINE質問し放題
- 月1回対面交流会
- AIバディ制度



### 4. 成功体験ファースト

初回30分で必ず成功体験



### 5. シニア特化UI/UX

- 大きな文字
- 音声入力
- 紙併用



# ビジョン

AIがあるから楽しいと思える50代以上を100万人つくる

デジタルデバイドを解消し、  
シニアの生活をAIで豊かにする



## ミッション

年齢に関わらず、誰もが  
AIの恩恵を受けられる  
社会をつくる



「AIが使えないから不便」ではなく  
「AIがあるから楽しい」と思える  
50代以上を100万人つくる

## マイルストーン

2026年



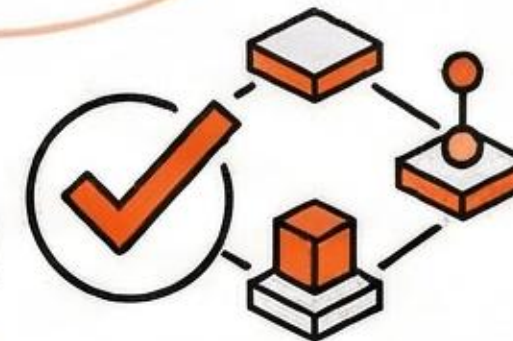
MVP立ち上げ、  
受講者500名

2027年



受講者1万人、  
シニアAI教育のトップブランド

2030年



シニアAIリテラシーの  
標準プラットフォーム

ありがとうございました

TEKION Group



# ビジネスモデル

B2C 50% + B2B 35% + ライセンス15%

 **LTV/CAC = 7.47倍、回収期間1.6ヶ月の健全モデル**



## B2C講座（個人向け）

- ・ベーシック  
¥4,980/月（週1ライブ + LINE質問）
- ・プレミアム  
¥9,800/月（+ 月2回個別指導）
- ・マスター  
¥19,800/月（+ AIバディ + 修了証）

**月間売上：¥2,374,000（安定期）**



## B2B研修受託（法人向け）

- ・半日研修  
¥300,000（3時間、最大30名）
- ・連続研修  
¥1,500,000（4週間）

**月間売上：¥3,400,000（安定期）**



## ライセンス・教材



- ・テキスト教材、動画パック、自治体ライセンス
- ・講師養成プログラム  
（¥198,000）



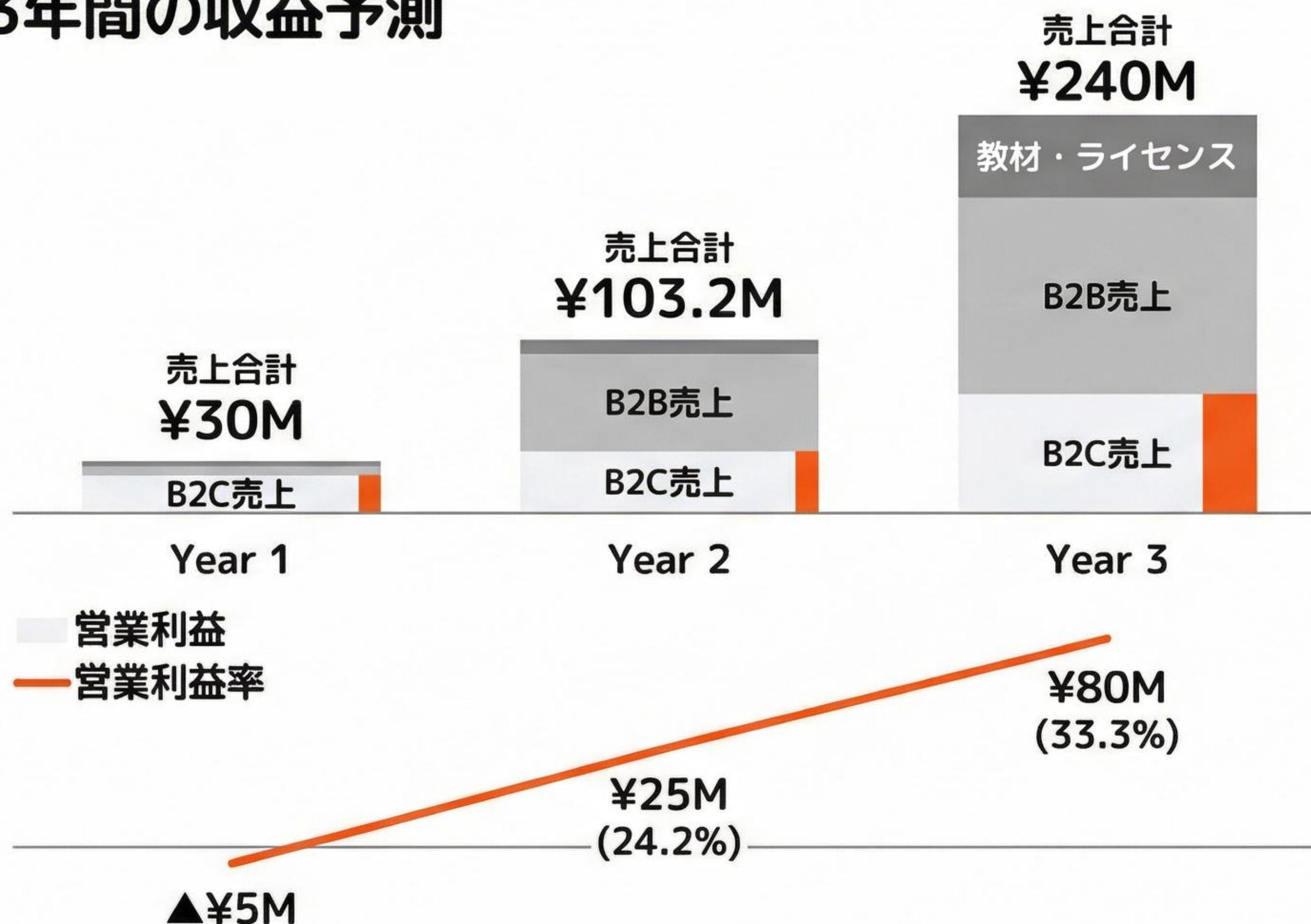
# 収益予測

Year 3で営業利益率33.3%



損益分岐点8ヶ月、Year 2で黒字化、  
Year 3で高収益体質

## 3年間の収益予測



## 主要KPI (Year 3目標)



月間有料会員数：1,000名



月次解約率：3%



B2B研修受注：10件/月



NPS (推奨度)：65



# サービス構成

学習基盤 × コミュニティ × コンテンツ

 スマホ最適化、直感的UI、音声入力対応



## 学習基盤 (LMS)

- ・進捗管理、動画レッスン、修了バッジ



## コミュニティ (LINE)

- ・質問受付、受講生同士の交流
- ・AIバディ制度



## コンテンツ配信

- ・動画（字幕付き）
- ・PDF教材
- ・プロンプトテンプレート



## 受講生向けアプリ (PWA)

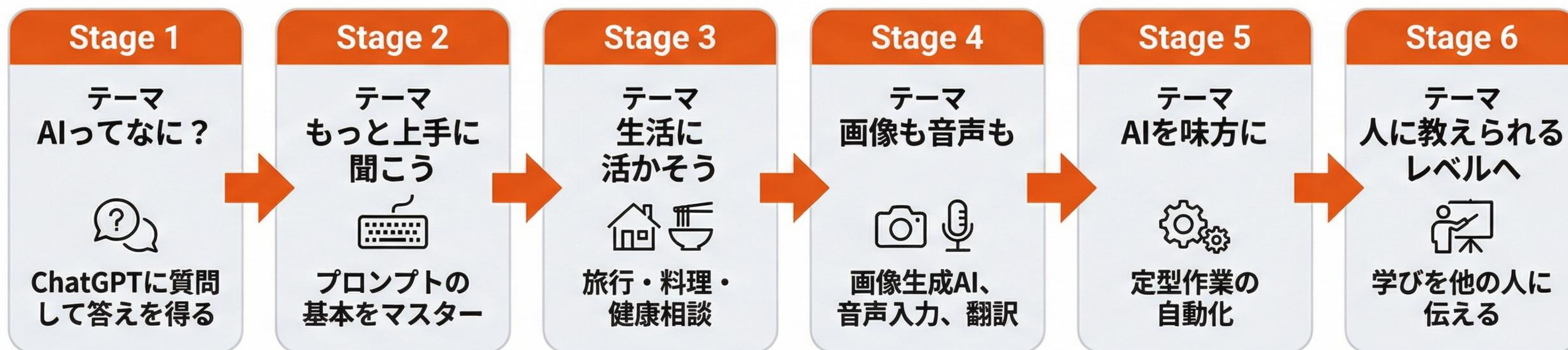
- ・ステップバイステップ操作ガイド
- ・AIお試し画面
- ・学習カレンダー



# カリキュラム

全6ステージ、各4週間

理論より実感、成功体験を積み重ねる設計



※1レッスン60分：





# リスクと対策

## 主要3リスクへの備え

リスク管理体制を初期から構築、  
柔軟な対応力を確保



### 1. 競合参入リスク（影響：高）

- 先行者優位確立、コミュニティの粘着性
- 認定講師制度、B2B法人チャネル早期開拓



### 2. 解約率高騰リスク（影響：中）

- オンボーディング強化（初月週3回フォロー）
- AIバディ制度、ゲーミフィケーション
- 休会制度導入



### 3. AI規制強化リスク（影響：高）

- 特定AIサービスに依存しない設計
- 複数プロバイダー対応（OpenAI/Anthropic/Google）
- 法務顧問と連携、規制モニタリング



# 市場機会

生涯学習市場2.5兆円、AI教育市場急成長

## シニア×AI×スマホ特化の空白市場、先行者優位を獲得可能

### 市場規模



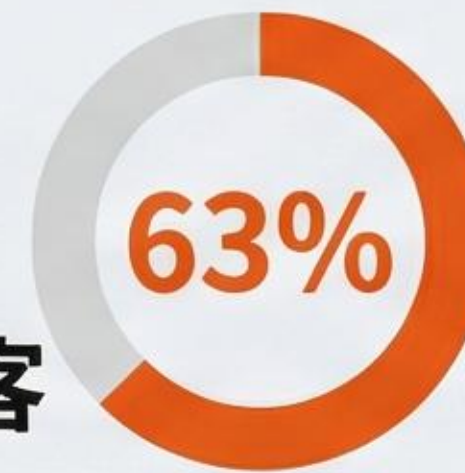
- 生涯学習市場：  
約2.5兆円（2024年）
- シニア向けデジタル教育：  
約1,200億円
- AI教育市場：  
¥920億円（2025年）  
→ ¥2,800億円（2028年予測）



### ターゲット規模



- 50代以上のスマホ保有率：  
82.7%  
推定3,200万人
- AI認知率71.3%、  
利用率8.2%  
→ 63%が潜在顧客



### 成長ドライバー



- 政府のデジタル推進政策
- リスキリング補助金  
（最大70%補助）
- 定年延長トレンド  
（70歳まで就業機会）



# ローンチタイミング

2026年Q2がゴールデンウィンドウ

**今がベストタイミング。遅れるほど競合参入リスクが高まる**



## 市場の成熟

ChatGPT月間3億ユーザー突破  
日本での認知率7割超え  
「知っているのに使えない」  
フラストレーション最大化



## 政策追い風

デジタル庁の「誰一人取り残されないデジタル社会」  
リスキリング補助金（最大70%補助）  
自治体のデジタルデバйд解消予算増加



## 競合空白

シニア×AI×スマホ特化の本格  
サービスは国内に存在しない  
大手参入前の12~18ヶ月が  
ゴールデンウィンドウ

**推奨ローンチ時期：2026年Q2（4~6月）**

新年度予算、GW明けの学び意欲



# 50代からのAI講座

スマホで文字が打てれば、AIは使える

- プログラミング不要、特別なPCスキル不要。
- スマホで文字を打つだけ。

